

第2回 八尾翠翔高等学校 学校運営協議会（報告）

協議委員（4名）の参加をいただき、本校教職員（2名）が同席し協議を行った。

学校長より説明

① 学校経営計画の進捗状況

- ・生徒が相談しやすい生徒指導体制になっているか
養護教諭複数配置とスクールカウンセラーの活用で対応しているが、相談数が増えている。
居心地の良い環境（支援カード等の活用とサポート委員会）づくりに努めている。
- ・教職トライコースはよい取り組みだと思う。
教職をめざす生徒のために開講した今年度は「教職講義」（2年生）を実施。
次年度から教職実習を開始（小学校）
- ・コロナで一気にICTが進んだようだ。
IT機器の活用が進んだ。生徒のプレゼンの機会が増えた
- ・地域連携の取り組みは重要
茶吉庵プロジェクトで八尾市も入って取り組みが進む。
商業施設（八尾駅前リノアス等）と連携して広報活動につなげていく。
- ・大学のついている私学や授業力、集客力のある私学は人気がある。
勉強の仕方は公立の方が上である。
- ・特色のある面白い授業（竹細工で流しそうめん、ゆるキャラ作りなど）を検討するのもよいのではないか。広報活動（ブログやクラブ動画、ツイッターなど）や中学校との連携強化（中学校訪問）もかなりやっている。

② 第1回授業アンケートの結果

- ・実技教科の評価が高い。全体的に評価が上がっている（生徒にとって理数は難しい）

③ 授業見学実施

- ・選択授業の人数はちょうどよい（約20名）
- ・コースの授業はレベルが高いので中くらいの生徒が伸びない。目配りが大切。
- ・授業の雰囲気はよい。
- ・アメリカのように選択授業の科目（ダンス、演劇、自動車整備、トランペットやジャズ等）を増やしてはどうか。教育課程や先生の問題がある。通常の授業の中で色々と工夫して生徒の興味に応じた授業を行っている。
- ・タブレットの授業は副読本が入っているので調べ学習に良い。

次回は2月に予定